

薬剤科の取り組み

職員・住民のワクチン接種

経営企画局 事務部 医療情報戦略課 医療戦略係

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対抗する手段として、国内では2021年3月からコロナワクチン接種が開始された。

当センターでは60歳以上の入院患者が90％以上を占めており、高齢者はCOVID-19感染による重症化リスクが高いことから、院内クラスターの予防及び医療提供体制維持が最優先事項であった。そのため、職員向けに早急に接種プログラムを開始（図1）し、院内感染リスクを低減したことと、サテライト型施設

設として、近隣の医療施設へコロナワクチンを配分する機能も担い、地域の医療体制をサポートしてきた。

そして、地域の住民・医療従事者、ホテル療養施設の看護師、看護学校の学生など広範な対象にコロナワクチン接種を行い（図2）、発症予防や重症化リスクの低減に貢献した。特に地域の住民への接種において、約70％が70歳以上の高齢者であり、かかりつけ患者さんを含め、重症化リスクが高い多くの高齢者へ4回目までコロナワクチン接種

を行うことができた。ワクチン接種回数が多い高齢者ほど致死率の低下が見られることから（参考資料1）、COVID-19感染による高齢者の死亡者数を減少させる一助になったと考えられる。

現在も、センターは職員向けのコロナワクチン接種を継続し、院内感染リスクを最小限に抑えつつ、センターの職場環境を安全に維持する取り組みを行っている。

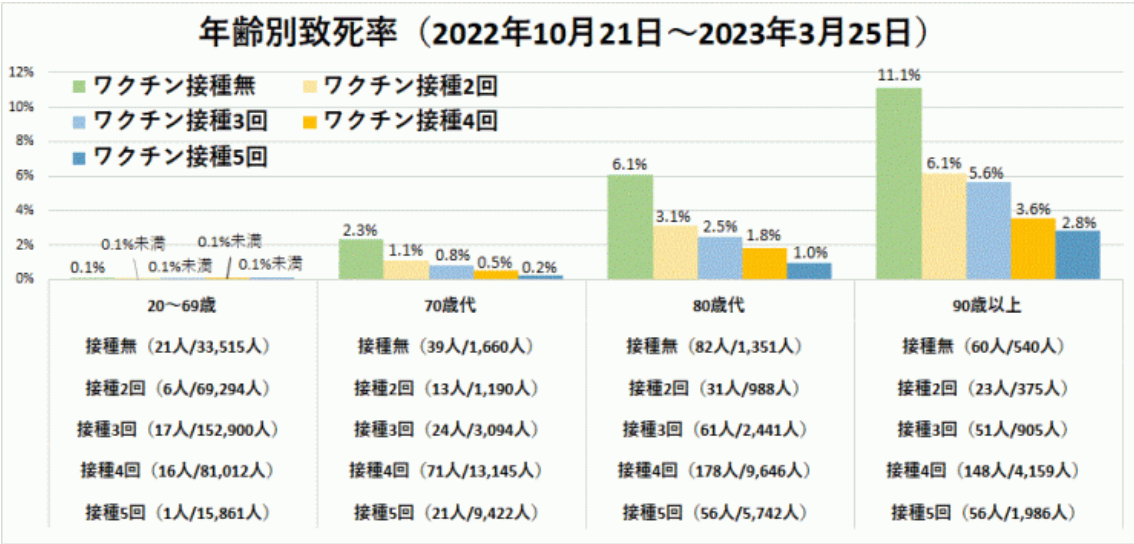
図1 センター第1号となるコロナワクチン接種をセンター長が率先して受ける様子（2021年3月）



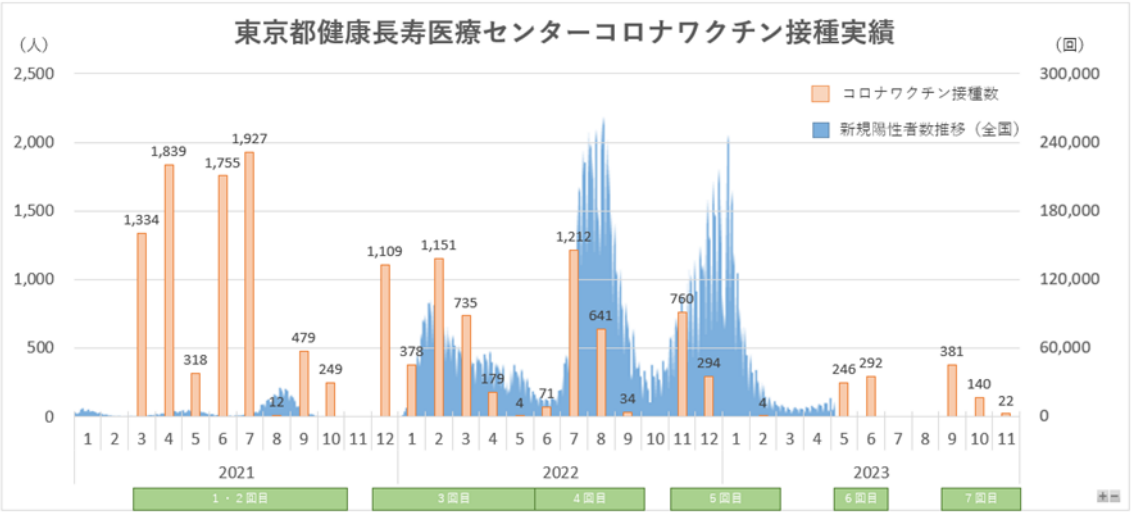
図2 接種対象者別コロナワクチン接種実績

接種対象者	接種回数
職員等	8,795
住民	6,120
地域の医療従事者	415
看護学校学生等	141
ホテル療養施設看護師	95
総計	15,566

参考資料1：埼玉県における2023年5月7日以前のCOVID-19の流行情報
(<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/covid-19.html>)



参考資料2:感染状況とセンターのコロナワクチン接種実績



※新規陽性者数推移のデータは5月8日までとなっている。